成人心臓血管外科における新型コロナウイルス対策についての今後の診療体制

当院は沖縄県内で唯一のこどもから大人までの心臓血管手術が行える総合病院として、日々治療にあたってきました。その中でも当科（成人部）は、南部医療圏はもちろん中北部地区や離島など県内の広い地域からの御紹介により、今までに多くの診療実績を積み重ねて参りました。これはひとえに地域の先生方の御協力と御支援があっての事と、深く感謝しております。
一方で当院は第一種/二種感染症指定医療機関であり、新型コロナウイルス感染症の流行に対する当院の責務は重くのしかかっております。**昨今の感染状況の増悪から、該当部署スタッフの疲労は極限まで来ており、まさに医療崩壊目前であります。実際院内では治療体制の再編が急務**となっています。
このおり、4月6日に日本心臓血管外科学会から「新型コロナウイルス対策についての提言」がなされました。心臓大血管の待機手術の延期を行う事で、新型コロナウイルス対策に必要な医療資源を振り分けることが可能であると述べられており、我々もこの考えに強く共感するものであります。以上より

「緊急性が低いと判断された待機的成人心臓大血管手術の全症例の一時延期」
（暫定：令和2年5月末日までとしますが、日程変更・再開時は再告知いたします）

をここに宣言いたします。当科診療に日頃から御支援頂いていている地域の先生方・患者様・御家族様には非常に御不便な状況になるかと思われますが、この難局を共に乗り切っていく窮余の策である事を十分に御理解いただければ幸いです。

最後になりますが疾患特性上**緊急手術・処置の必要となる方に関しては、引き続き当科ホットライン（070-5814-9676）/救急外来または地域連携にて今後とも24時間対応し**、安全を十分に配慮の上でコロナウイルス対策の影で失う可能性のある命を確実に救っていきたい所存でもあります。一日も早く日常診療が行える日がくる事をチーム一同祈っております。